

【フロアボールリーグ 細則】

下記の通りリーグにおける細則を定める。

なお、この細則に記載のないものについては大会運営委員会及びフロアボール部門で協議のうえ決定し、リーグ細則に追加することとする。

1. 登録に関する事項
2. 会場に関する事項
3. 審判に関する事項
4. 試合に関する事項
5. 懲罰に関する事項
6. その他の事項

【表記について】

国際フロアボール連盟 : IFF

日本フロアボール連盟 : JFA

【改訂履歴】

2018年1月4日	制定
2018年4月15日	コート内の立ち入りについて アイガードについて インターナショナルトランスファーについて 懲罰に関する事項について クラブをまたいでの「選手登録」「スタッフ登録」について
2018年5月20日	レフリータイムに関すること
2018年7月22日	登録、会場、審判、試合に関する事項
2022年4月	登録に関する事項
2025年3月	登録に関する事項

《登録に関する事項》

1. 追加選手及び追加スタッフの出場までの流れ

追加選手及び追加スタッフの出場までの流れは以下の通りとし、期間厳守とする。

- ① 所属都道府県連盟にて、F及びB登録する。
- ② エントリー表に①で登録した選手及びスタッフを追記し、出場したい試合の**7日前**までに**F事務局**へ提出する。
- ③ 本部にて出場試合前に登録状況を確認し、出場可能となる。
- ④ 試合当日、エントリー表と会員証の突合でミスなどが合った場合は出場不可となる。
次試合の**7日前**までに修正手続きを終わらせ、出場可能となる。
- ⑤ **日本リーグの追加のエントリー表提出は2025年7月末までになります。**
- ⑥ **日本リーグのID確認作業は2025年 8月末までに完了させること。**

※選手追加に伴い別の選手を削除した場合、削除された選手は同一チームでの追加登録は認めない。

2. 移籍、移動について

クラブ間については「移籍」、クラブ内のチーム間については「移動」とし、手続きを行うこととする。

① クラブ間移籍

・日本選手権終了後からリーグ終了前までの期間で、1人につき1回までとする。

**※移籍に関しては、双方クラブの合意のもと責任を持って適切に行うこと。トラブル等、運営側は一切関与致しません。
前年度使用した「移籍同意書」に関しましては、今年度は提出を求めません(使用致しません)。**

・移籍選手を追加した選手・スタッフ登録表を出場を希望する試合の1ヶ月前までに大会運営委員会へ提出する。

② クラブ内のチーム移動

・リーグ開始後、7月までの期間で、1人につき1回までとする。

・年度切り替え時は、移動としてカウントしない。

・移動選手を追加した選手・スタッフ登録表を参加を希望する試合の7日前までに大会運営委員会へ提出する。

《登録に関する事項》

3. クラブをまたいでの「選手登録」「スタッフ登録」について

選手登録しているチーム（クラブ）とは別のクラブ（チーム）の監督、コーチ、スタッフとして登録することについては下記の通りとする。

・リーグエントリーに限り、次の条件を満たす場合、有効とする。

A：普及・指導・育成等を目的としていること

B：選手登録しているチームとスタッフ登録するチームの 카테고리（リーグ）が違うこと

C：クラブ間（チーム）の確認、承認ができていないこと

※申請書には、クラブ代表責任者署名、理由が明記されていること。

上記条件に当てはまらない場合や理由によっては承認できない場合もある（審査まで約1週間）

上記条件を満たしている場合、1事案のみ有効とする。

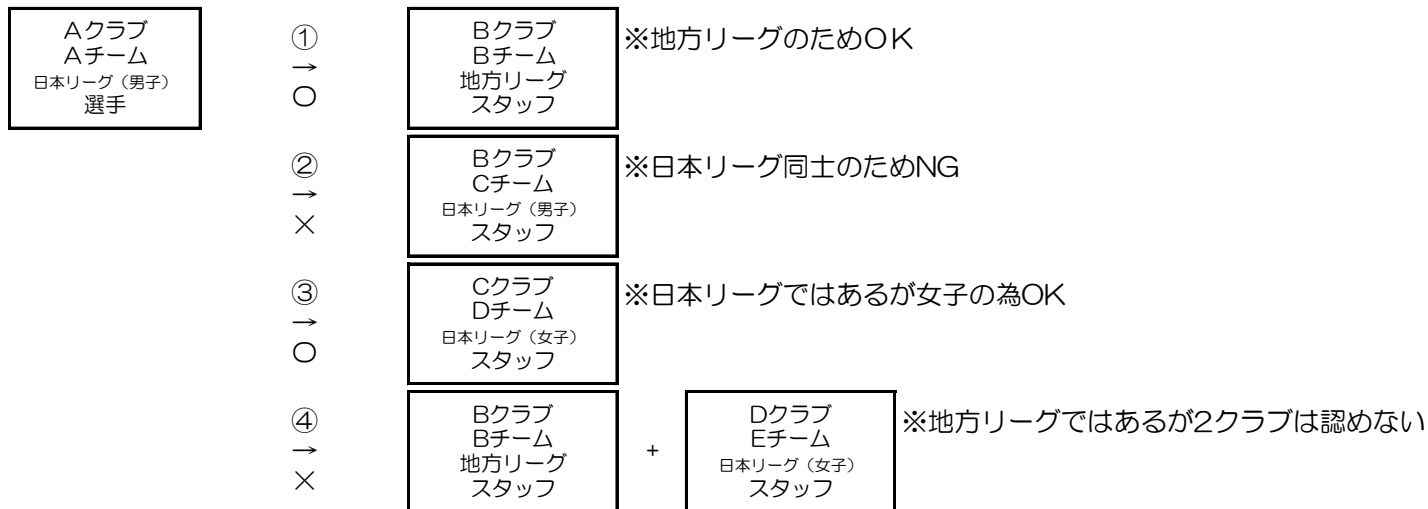
（例）

AクラブのAチーム（日本リーグ（男子）参加チーム）で選手登録している選手が、

- ① BクラブのBチーム（地方リーグ参加チーム）のスタッフとして登録する＝○
- ② BクラブのCチーム（日本リーグ（男子）参加チーム）のスタッフとして登録する＝×（同一リーグのため）
- ③ CのDチーム（日本リーグ（女子）チーム）のスタッフとして登録する＝○（日本リーグだが男女が違う）
- ④ BクラブのBチーム（地方リーグ参加チーム）のスタッフとして登録し、

さらに、新しく設立されたDクラブのEチーム（日本リーグ（女子）参加チーム）のスタッフとしても登録する＝×（同一選手で、BクラブとDクラブの2事案になるため）

※地方リーグの選手が日本リーグのスタッフになる＝×（上記条件Aを満たさないため）



《登録に関する事項》

4. チーム編成と試合参加メンバー

- ① チームは、参加資格を有する者で構成（選手及びチームスタッフ）し、エントリー表を提出する。
エントリー表の登録選手の上限は日本リーグ25名、地方リーグ30名までとする。
- ② 試合ごとに提出する「試合記録用紙」には、試合に参加する選手20名以内及びベンチに入るチームスタッフ5名以内を選出のうえ記入する。
なお、当該試合にベンチ入りしない選手及びスタッフは記入しないこと。
- ③ エントリー表への追加（選手及びチームスタッフ）は可能。
※JFFへの登録後、出場させる試合の7日前までに追記した選手・スタッフ登録表を大会運営担当へ提出する。
※大会運営担当は、追加登録した者の登録状況を確認し、出場可能日を当該クラブへ連絡する。
※選手追加に伴い別の選手を削除した場合、削除された選手は同一チームでの追加登録は認めない。
- ④ 試合記録用紙は、前の試合の終了までに必ず記入し、チーム責任者のサインを受領すること。
- ⑤ クラブ間の移籍及びクラブ内チーム間の移動については、別途定める。

5. 選手登録確認について

- ① 各チームから提出されるエントリー表に記載されている選手の登録確認は事務局により行う。
- ② 追加エントリーが生じた場合は、追加選手を対象に上記確認作業を別途実施する。

6. インターナショナルトランスファーについて

- ① インターナショナルトランスファーはIFFが定めた期間、方法によって行うこと。
ただし、インターナショナルトランスファーは日本リーグのみとし、地方リーグには適用しない。
インターナショナルトランスファーをせずに、地方リーグチームを経由して日本リーグ所属チームへ移籍することは認められない。
- ② インターナショナルトランスファーを行う際は、トランスファーフォームに必要事項を記入し、JFF事務局へ提出すること。
インターナショナルトランスファーの許可がおりてから手続きを進めること。
- ③ インターナショナルトランスファーの完了については、IFFホームページで確認が取れた時点で完了とする。

《会場に関する事項》

1. 大会運営担当の対応内容について

大会運営委員会より事前に配信（大会運営担当宛）される「準備／注意事項確認票」の内容をクラブ内へ周知し、当日の試合進行が適切に進むように努める。

2. 施設利用に関しては、大会運営委員会の指示に従うこと。

施設利用において違反しているクラブ（チーム）へがあった場合は大会運営担当より大会運営委員会へ報告し、大会運営委員会で協議し、フロアボール部門として対処する。

フェンスやゴール等の備品、借用品を叩いたり、傷つける行為は禁止。

直接プレーに関与しないシチュエーションにおけるこれらの行為は、**メジャーペナルティ**を適用する。

3. 会場運営備品について

原則、会場運営備品に関しては大会運営が搬入する。

4. 施設内の練習について

コート以外の場所で、ボールを使用しての練習は禁止とする。

準備体操を含むアップについては指定された場所で行うこと。

5. 喫煙について

指定されている喫煙所以外での喫煙は厳禁とする。 ※体育館借用に影響が生じるため厳守すること。

6. ゴミについて

ゴミ（会場で購入した飲み物のゴミも含む）は、各自持ち帰るようクラブ内にて徹底すること。

施設内のごみ箱は使用禁止とする。（会場借用に影響が生じる可能性あり）

7. 車の利用について

① 駿河台大学への自家用車乗り入れについては事前登録が必要です。

② その他の体育館については、「準備／注意事項確認票」を確認すること。

8. 会場の設営、撤収について

設営は**第二試合のチーム**及び、**第一試合のオフィシャル担当チーム**にて設営を行う。

撤収は**最終試合の一つ前の試合のチーム**及び、**最終試合のオフィシャル担当チーム**にて行う。

《審判に関する事項》

1. 審判について

- ① 審判担当により担当する審判を決定し、スケジュール表により提示する。
- ② 審判を担当するチームは担当する試合の7日前までにその試合を担当する審判者名を審判委員会へ必ず連絡すること。
- ③ 審判を行うものは、定められた審判服を着用すること。

2. 審判手当について

- ① リーグ中、各試合で審判を行った有資格者へ審判手当を支給する。
- ② 審判手当は、謝金規定別表1に定められた手当を支給する。

3. 交通費について

- ① 審判をおこなった当日分の家から会場までの交通費実費負担分を支給する。
- ② ただし、同日に試合出場した場合、会場まで車に同乗させてもらうなど交通費がかかっていない場合は支給しないこととする。

4. 試合中の不服申し立てについて

試合後に、試合中の審判の判定についての不服申し立てについては、以下の通りで行う。試合後に直接審判へ意見をすることや質問することは認められない。

- ① 試合終了後に、本部席の審判委員長及び審判委員へクラブ代表者が問題のあったプレーについて不服申し立てをする旨を伝える。その場で審判委員長及び審判委員が説明し、解決可能であれば説明を行う。
- ② 審判委員長及び審判委員からの説明で解決できない場合は、クラブは書面にて大会運営委員会へ不服申し立てを行うこととする。
- ③ 大会運営委員会は、審判委員長及び審判委員、該当審判から事情を聴取し、審判委員会が作成した不服申し立てに対する回答文をクラブへ伝える。

5. レフリータイム（仮称）について

熱中症等、選手及びスタッフ、レフリーが試合を行うのに危険と判断された場合についてのみ、主にレフリーの水分補給を行うタイムをとれることとする。。（その間選手も水分補給可。）

レフリータイムの実施条件としては、

- ① 本部が気温、室温、湿度等を総合的に判断し、危険がある判断した場合
- ② オフィシャル及びレフリーが、熱中症等の危険がある判断した場合

レフリータイムの実施方法としては次の手順を踏む

- ① 試合前に本部・オフィシャル・レフリーが実施するかを判断する。（個別判断でも良い）
- ② 実施が決定された場合、レフリータイム対象の試合であることを試合前に試合を行うクラブにアナウンスする。
ただし、アナウンスしてもレフリーの判断で必ずしも実施されるわけではない。（例えば点が多く入り、水分補給の機会が取れている場合等）
- ③ レフリーの判断でピリオドに1回（概ねピリオドの中間時間）取れることとするが、そのタイミングは試合に影響のないタイミングで行う。
- ④ 時間は30秒間とする
- ⑤ ホイッスルを3連続して鳴らすシグナルでタイムを開始し、再開の笛でゲームを再開する。
- ⑥ あくまでも水分補給のためのタイムなので、作戦を話し合うことでゲームの再開を遅延するような場合は
遅延行為に該当し、マイナーベンチペナルティとする。

《試合に関する事項》

1. アクセサリーについて

- ① 時計等を身につけての試合参加は禁止。
- ② 審判が危険と判断し指摘があった場合は外すこと。
指摘後そのまま出場していた場合は**インコレクトエキップメント**としてマイナーベンチペナルティを適用する。

2. アンダーウェアについて

- ① 長袖のアンダーシャツ・スパッツの着用については、ユニホームのメインカラーと同色または黒とする。
ただし、チームで同一カラーに揃えること。またアンダーシャツ、スパッツと判断できる範囲のものとする。
- ② 審判が上記条件を満たしていないと判断した場合、着用を認めない。
指摘に従わない場合は**インコレクトエキップメント**としてマイナーベンチペナルティを適用する。

3. アイガードについて

- ① 17歳以下のフィールドプレーヤーについては、目を保護するアイガードを必ず着用すること。
- ② 18歳以上のフィールドプレーヤーについても、アイガードを着用することを強く推奨する。

アイガードは原則IFF認定のものとする。

特別な事情により使用できない場合については、事前に大会運営委員会へ相談しフロアボール部門の承認を得ること。

4. コート内の立ち入りについて

コート内に立ち入りできるのは、**選手・スタッフ登録表に記載されたメンバーのみ**で、アップ時間開始から試合終了までとする。

またスポーツに適した服装以外は認めない。（帽子の着用も禁止とする）

指摘に従わない場合は**インコレクトエキップメント**としてマイナーベンチペナルティを適用する。

5. 不戦勝の場合の試合成立条件について

フィールド5人+キーパー1人が試合開始時に整列していること。

GKはGKウェアを着用してしない場合はGKとは認められない。

6. オフィシャルについて

チームの大会運営担当が必ずオフィシャルにいること。

オフィシャルを担当するチームはチームの大会運営担当の指示のもとスムーズに試合が進行させること。

試合の進行においてチームの大会運営担当が判断できない事案が発生した場合は本部（大会運営委員会）へ報告、相談をする。

大会運営担当は試合終了後、オフィシャルシートの記載内容に不備がないことを確認しオフィシャルシートの写真とともに本部へ提出する。

オフィシャルを担当する人はスポーツに適した服装をすること。※シューズの着用も必須。（帽子の着用は禁止とする）

ボールパーソンは、試合に集中し進行を妨げる行為はしないこと。※スマートフォンをずっと触る等。

《懲罰に関する事項》

1. 試合中におきた懲罰が必要な事象について

試合中（ピリオド間も含む試合開始から試合終了まで）に起きた事象については、その全てにおいてレフリーがIFF競技規則に則り、適切なペナルティーを科すこととする。

2. 試合中以外におきた懲罰が必要な事象について

試合中以外の時間、場所で行われた不適切な行為については、フロアボール部門にて協議し、IFF競技規則に準じて懲罰を本人及びクラブに科すこととする。

《その他の事項》

1. 開会式、閉会式について

- ① 開会式、閉会式は参加全クラブが参加すること。
また、原則登録された選手及びスタッフ全員で参加すること。
- ② 参加の際はチームでユニフォームやジャージなど統一された格好とし、脱帽すること。

2. 各チームの大会運営担当者の働き

- ・ タイムテーブル通りに運営
- ・ アナウンス、タイマー機器操作
- ・ 記録用紙の記載、確認
- ・ 試合結果の送信
- ・ 事故発生時の初動対応

※審判ジャッジ関係は審判委員で対応。

※試合進行上の問題は大会運営委員で対応。

基本的な目的としては、オフィシャルを正確に行うことです。